



なかしん

中小企業景況レポート

No.21 中栄信用金庫 地域支援部

平成28年10月～12月実績と平成29年1月～3月見込み

◆調査概要

調査時期 平成28年12月上旬
 調査地域 秦野市、伊勢原市、平塚市、厚木市、開成町
 調査企業数 346社
 回答企業数 334社

【調査先及び回答状況】

	調査先	回答数	回答率
製造業	96	96	100.0
卸売業	26	26	100.0
小売・飲食業	64	63	98.4
サービス業	54	51	94.4
建設業	65	62	95.3
不動産業	41	36	87.8
合計	346	334	96.5

◆10月～12月期の概況

～売上・収益D.I.がプラス域に転じ、景況感は1年ぶりに改善～

当金庫主要営業地区内における中小企業を対象に景気動向調査を実施した結果、全業種総合の業況判断D.I.は▲2.4を示し、前回調査（平成28年7月～9月期）に比べ15.3ポイントの改善となりました。これは小売業、サービス業における季節需要や年末需要による売上増加に加え、自動車部品関連企業を中心とした生産持ち直しの動きや民間の工事受注が堅調に推移したことから、売上額・収益D.I.が改善し、1年ぶりに景況感の改善に至ったものと思われます。また一部企業においては、生産性向上に向け、工場の移転・増設に踏み切る企業や機械設備の導入を検討する企業も見受けられます。

しかし特別調査によると、平成29年の日本の景気見通しを「良い」局面と見込む企業は約1割、「悪い」局面と見込む企業は約4割、「普通」が約4割と回答していることから、依然として国内外の経済動向に対する先行きへの不透明感が窺えます。また、慢性的な人手不足とともに前回調査時に懸念されていた最低賃金の引き上げを背景に、人件費の増加を懸念する企業が増加していることに加え、仕入価格の高止まりも足かせとなり、今後も厳しい収益環境が見込まれます。

項目別にみると、売上実績D.I.は19.3ポイント改善の11.1、収益実績D.I.は20.2ポイント改善の8.1となっております。また、仕入価格D.I.は上昇感が強まり4.6ポイント上昇の15.3、人手過不足については10.1ポイント不足感が強まり▲33.0、資金繰りD.I.は3.3ポイント改善の▲13.5となっております。

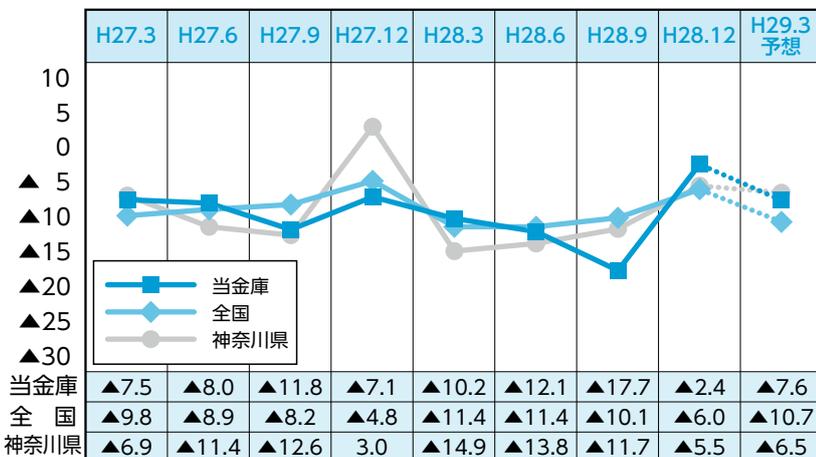
また、業種別の景況感は、建設業が35.7ポイント改善の24.2、サービス業が19.3ポイント改善の2.0、製造業が16.7ポイント改善の0.0、小売・飲食業が11.7ポイント改善の▲20.6、卸売業がほぼ横這いの▲19.2、不動産業が11.3ポイント悪化の▲16.7となっております。（業種別の詳細については、次頁以降をご参照ください。）

なお、全国の中小企業業況判断D.I.は、4.1ポイント改善の▲6.0、神奈川県内は、6.2ポイント改善の▲5.5となっております。（全国と神奈川県のD.I.値については、信金中央金庫による調査に基づいております。以下同様。）

◆1月～3月期の見通し

来期の業況判断予想は、5.2ポイント悪化の▲7.6、売上額D.I.は14.4ポイント悪化の▲3.3、収益D.I.は14.7ポイント悪化の▲6.6の予想となり、製造業、サービス業、建設業で悪化の見込みとなっております。

業況判断D.I.値（全業種）



全国、神奈川県の業況判断D.I.値は、信金中央金庫 地域・中小企業研究所が全国約16,000（うち神奈川県約480）の中小企業を対象に実施している「全国中小企業景気動向調査」の調査データに基づいております。

D.I.値とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「良い」「やや良い」と回答した企業の割合から、「悪い」「やや悪い」と回答した企業の割合を引いた値です。値が小さいほど業況判断は悪いということになります。

業種別景気天気図

	前期	今期	予想
総合			
製造業			
卸売業			
小売・飲食業			
サービス業			
建設業			
不動産業			

※この天気図は、景気指標を総合的に判断して作成しました。

好調 ← → 低調
 良い ← → 悪い

製造業

概況

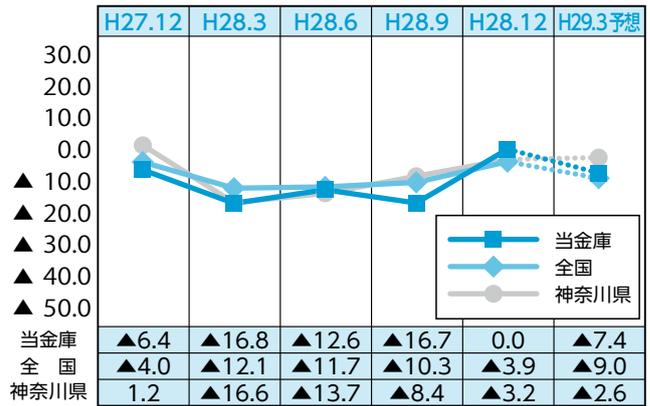
製造業の業況判断D.I.は前回調査比16.7ポイント改善の0.0となりました。項目別では、売上額D.I.は前回調査比26.1ポイント改善の25.0、収益D.I.は24.4ポイント改善の16.6となっております。

自動車部品関連企業を中心とした生産の持ち直しに加え、受注増加に伴い、生産性向上に向け工場の移転・増設を行う企業が見受けられることから業況判断の改善に至ったものと思われます。しかし特別調査によると、平成29年の自社の業況見通しを「良い」と見込む企業は約2割、「悪い」と見込む企業は約3割強、「普通」が約4割となり、人手不足による納期に向けた残業対応や最低賃金の引き上げを背景とした人件費の増加への懸念から、利幅の確保に苦慮する状況が見られ、景況感の力強い回復には乏しい様子が窺えます。

なお、全国は6.4ポイント改善の▲3.9となっており、神奈川県は5.2ポイント改善の▲3.2となっております。

来期の予想業況判断については、7.4ポイント悪化の▲7.4と予想されております。

業況判断D.I.値



売上額

	前期実績	当期中	当期末	D.I.
前期実績	30.0	38.9	31.1	▲1.1
当期実績	44.7	35.6	19.7	25.0
来期予想	22.9	51.1	26.0	▲3.1
前年同期比	33.3	33.4	33.3	0.0

販売価格

	前期実績	当期中	当期末	D.I.
前期実績	4.4	91.2	4.4	0.0
当期実績	9.3	81.4	9.3	0.0
来期予想	5.2	86.5	8.3	▲3.1

在庫

	前期実績	当期中	当期末	D.I.
前期実績	10.0	85.6	4.4	5.6
当期実績	9.3	89.7	1.0	8.3
来期予想	5.2	91.7	3.1	2.1

人手

	前期実績	当期中	当期末	D.I.
前期実績	10.0	66.7	23.3	▲13.3
当期実績	8.3	59.5	32.2	▲23.9
来期予想	6.2	60.5	33.3	▲27.1

収益

	前期実績	当期中	当期末	D.I.
前期実績	22.2	47.8	30.0	▲7.8
当期実績	34.3	48.0	17.7	16.6
来期予想	16.6	62.6	20.8	▲4.2
前年同期比	31.2	38.6	30.2	1.0

原材料価格

	前期実績	当期中	当期末	D.I.
前期実績	7.7	91.2	1.1	6.6
当期実績	16.6	80.3	3.1	13.5
来期予想	16.6	79.3	4.1	12.5

資金繰り

	前期実績	当期中	当期末	D.I.
前期実績	13.3	60.1	26.6	▲13.3
当期実績	11.4	62.6	26.0	▲14.6
来期予想	7.3	67.5	25.2	▲17.9

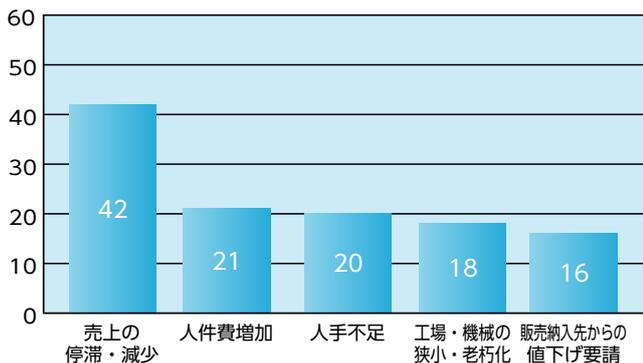
設備状況

	前期実績	当期中	当期末	D.I.
前期実績	8.9	72.0	19.1	▲10.2
当期実績	9.5	70.3	20.2	▲10.7
来期予想	9.6	70.0	20.4	▲10.8

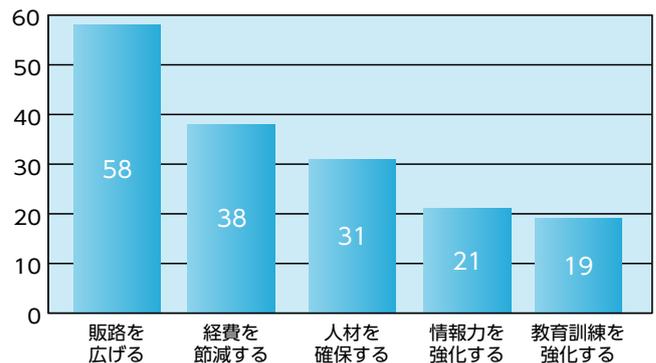
当期実績…28年10～12月期
来期予想…29年1～3月期

□ 良い、増加、上昇 過剰、楽 □ 普通、変わらず 適正 □ 悪い、減少、下降 不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



卸売業

概況

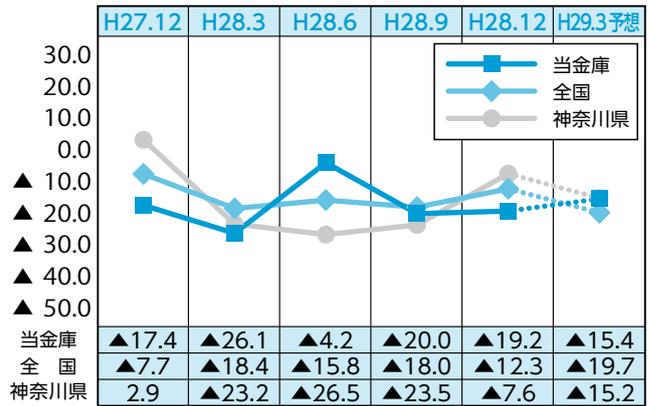
卸売業の業況判断D.I.は前回調査からほぼ横這いの▲19.2となりました。項目別では、売上額D.I.は前回調査比8.4ポイント改善の▲11.6、収益D.I.は12.1ポイント改善の▲3.9となっております。

建材卸売業を中心に安定した受注を確保する動きが見られるものの、仕入価格上昇分の価格転嫁が十分に進まないことに加え、約2割の企業が昨年同時期と比べ売上・収益が減少と回答していることから、業況判断の改善には至らなかったものと思われれます。また特別調査によると、平成29年の自社の業況見通しを「良い」と見込む企業は約1割強、「悪い」と見込む企業は約2割強、「普通」が約5割と、今後の先行き不透明感が窺える中、新たな市場の開拓に向け、事務所移転を検討する動きも見受けられます。

なお、全国は5.7ポイント改善の▲12.3となっており、神奈川県は15.9ポイント改善の▲7.6となっております。

来期の予想業況判断については、3.8ポイント改善の▲15.4と予想されております。

業況判断D.I.値



売上額

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	16.0	48.0	36.0	▲20.0	
当期実績	23.0	42.4	34.6	▲11.6	
来期予想	19.2	57.8	23.0	▲3.8	
前年同期比	23.0	46.3	30.7	▲7.7	

販売価格

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	8.0	80.0	12.0	▲4.0
当期実績	15.3	69.4	15.3	0.0
来期予想	84.7	15.3	▲15.3	

在庫

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	16.0	72.0	12.0	4.0
当期実績	4.0	96.0	4.0	4.0
来期予想	8.0	92.0	8.0	

人手

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	7.6	65.5	26.9	▲19.3
当期実績	73.1	26.9	▲26.9	
来期予想	73.1	26.9	▲26.9	

収益

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	20.0	44.0	36.0	▲16.0	
当期実績	23.0	50.1	26.9	▲3.9	
来期予想	7.6	69.4	23.0	▲15.4	
前年同期比	19.2	57.8	23.0	▲3.8	

仕入価格

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	7.6	80.9	11.5	▲3.9
当期実績	20.0	64.0	16.0	4.0
来期予想	4.0	88.0	8.0	▲4.0

資金繰り

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	7.6	73.2	19.2	▲11.6
当期実績	19.2	53.9	26.9	▲7.7
来期予想	15.3	65.5	19.2	▲3.9

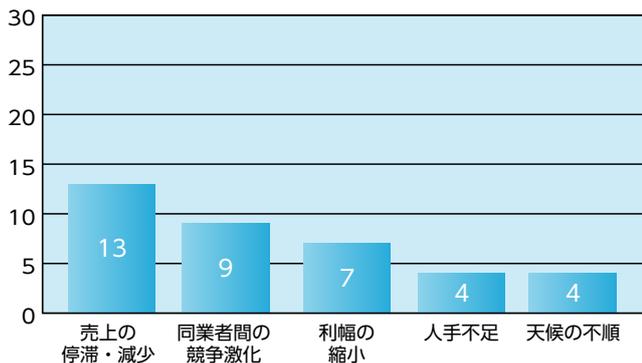
設備状況

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	80.8	19.2	▲19.2	
当期実績	4.0	80.0	16.0	▲12.0
来期予想	4.1	79.3	16.6	▲12.5

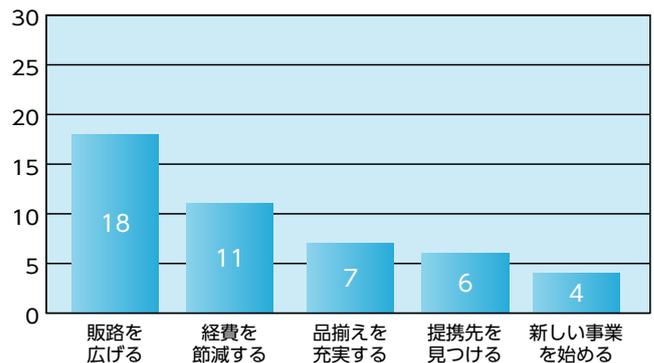
当期実績…28年10～12月期
来期予想…29年1～3月期

□ 良い、増加、上昇 過剰、楽 □ 普通、変わらず 適正 □ 悪い、減少、下降 不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



小売・飲食業

●概況

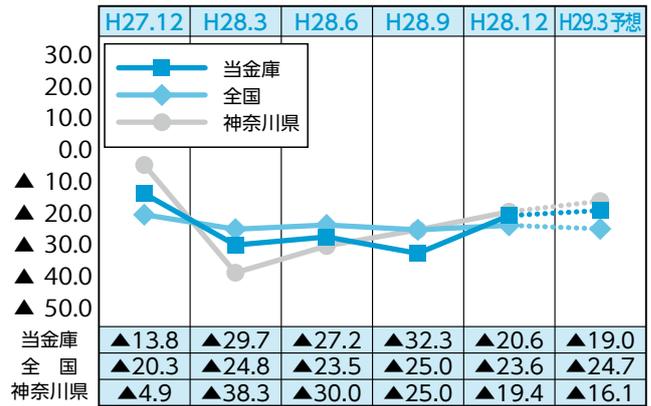
小売・飲食業の業況判断D.I.は前回調査比11.7ポイント改善の▲20.6となりました。項目別では、売上額D.I.は前回調査比16.1ポイント改善の1.6、収益D.I.は24.2ポイント改善の3.2となっております。

飲食業、飲食物品小売業を中心に、季節需要や年末商戦等により売上額D.I.は3期連続改善し業況回復に至ったものの、大規模店舗の進出や同業者間の競争激化により、不採算店舗を閉鎖する企業が見受けられることに加え、平成29年の自社の業況見通しを「良い」と見込む企業は約1割、「悪い」と見込む企業は約4割強、「普通」が約4割となり、6業種の中で最も厳しい見通しとなっていることから景況感の低迷が続いております。また一部では販売促進の強化に向け補助金等を活用する動きもみられます。

なお、全国は1.4ポイント小幅改善の▲23.6、神奈川県は5.6ポイント改善の▲19.4となっております。

来期の予想業況判断については、1.6ポイント改善の▲19.0と予想されております。

●業況判断D.I.値



売上額

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	20.9	43.7	35.4	▲14.5	
当期実績	31.7	38.2	30.1	1.6	
来期予想	26.9	39.8	33.3	▲6.4	
前年同期比	22.5	34.0	43.5	▲21.0	

販売価格

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	9.6	80.8	9.6	0.0
当期実績	11.1	82.6	6.3	4.8
来期予想	9.5	85.8	4.7	4.8

在庫

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	17.7	75.9	6.4	11.3
当期実績	22.2	76.3	1.5	20.7
来期予想	15.8	82.7	1.5	14.3

人手

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	4.8	64.6	30.6	▲25.8
当期実績	9.5	52.5	38.0	▲28.5
来期予想	3.1	55.7	41.2	▲38.1

収益

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	17.7	43.6	38.7	▲21.0	
当期実績	30.1	43.0	26.9	3.2	
来期予想	15.8	50.9	33.3	▲17.5	
前年同期比	19.3	40.4	40.3	▲21.0	

仕入価格

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	25.8	69.4	4.8	21.0
当期実績	23.8	73.1	3.1	20.7
来期予想	15.8	82.7	1.5	14.3

資金繰り

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	4.8	64.6	30.6	▲25.8
当期実績	7.9	60.4	31.7	▲23.8
来期予想	4.7	63.6	31.7	▲27.0

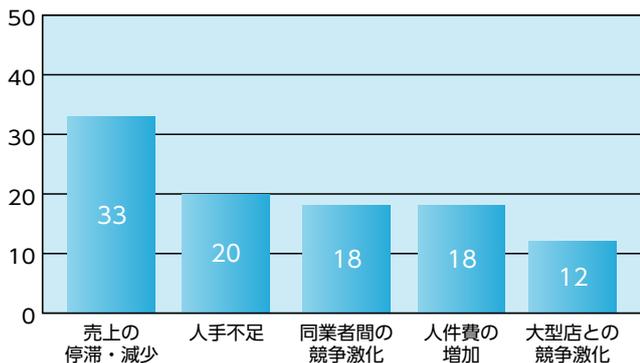
設備状況

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	6.4	82.4	11.2	▲4.8
当期実績	3.1	79.5	17.4	▲14.3
来期予想	5.0	75.0	20.0	▲15.0

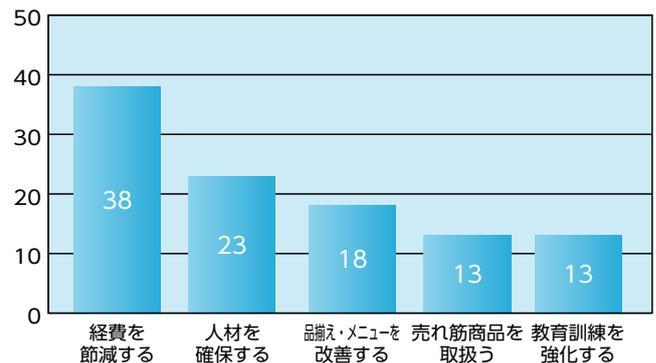
当期実績…28年10～12月期
来期予想…29年1～3月期

□ 良い、増加、上昇、過剰、楽 □ 普通、変わらず、適正 □ 悪い、減少、下降、不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



サービス業

概況

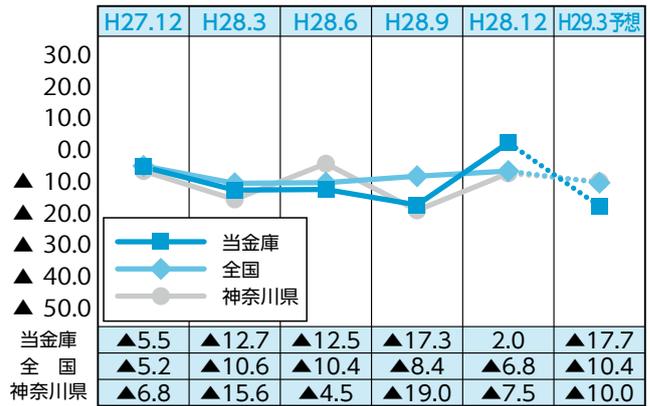
サービス業の業況判断 D.I. は前回調査から 19.3 ポイント改善の 2.0 となり、2 年 9 ヶ月ぶりにプラス域に転じました。項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 19.7 ポイント改善の 12.0、収益 D.I. は 19.3 ポイント改善の 5.9 となっております。

秋の観光シーズンに加え、一部の介護事業所の新設や移転に伴う利用者数の増加が売上額・収益 D.I. の改善に寄与したものの、人材確保に苦慮する企業が増加するとともに、材料価格 D.I. は 14.0 ポイント上昇の 23.6 と材料・仕入価格の上昇感が強まっております。また特別調査によると、平成 29 年の自社の業況見通しを「良い」と見込む企業は約 3 割、「悪い」と見込む企業は約 3 割強、「普通」が見られ、総体的に横這いの状況が窺えます。

なお、全国は 1.6 ポイント小幅改善の▲6.8 となっており、神奈川県は 11.5 ポイント改善の▲7.5 となっております。

来期の予想業況判断については、19.7 ポイント悪化の▲17.7 と予想されております。

業況判断 D.I. 値



売上額

	前期実績	当期中	当期末	D.I.
前期実績	23.0	46.3	30.7	▲7.7
当期実績	36.0	40.0	24.0	12.0
来期予想	12.0	56.0	32.0	▲20.0
前年同期比	31.3	43.3	25.4	5.9

料金価格

	前期実績	当期中	当期末	D.I.
前期実績	5.7	86.7	7.6	▲1.9
当期実績	1.9	92.3	5.8	▲3.9
来期予想	3.9	86.3	9.8	▲5.9

資金繰り

	前期実績	当期中	当期末	D.I.
前期実績	9.6	52.0	38.4	▲28.8
当期実績	11.7	57.0	31.3	▲19.6
来期予想	5.8	62.9	31.3	▲25.5

設備状況

	前期実績	当期中	当期末	D.I.
前期実績	1.9	77.0	21.1	▲19.2
当期実績	1.9	80.5	17.6	▲15.7
来期予想	4.0	84.0	12.0	▲8.0

収益

	前期実績	当期中	当期末	D.I.
前期実績	19.2	48.2	32.6	▲13.4
当期実績	29.4	47.1	23.5	5.9
来期予想	15.6	55.0	29.4	▲13.8
前年同期比	25.4	43.3	31.3	▲5.9

材料価格

	前期実績	当期中	当期末	D.I.
前期実績	15.3	79.0	5.7	9.6
当期実績	29.4	64.8	5.8	23.6
来期予想	25.4	70.7	3.9	21.5

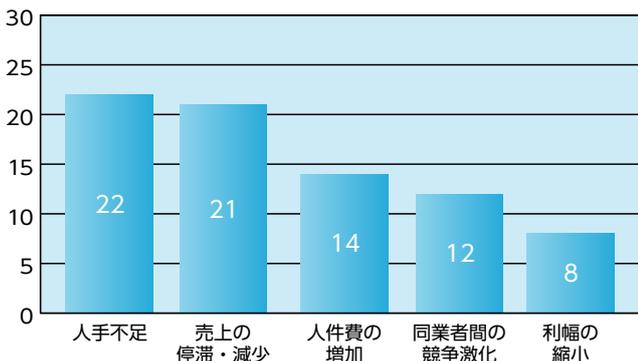
人手

	前期実績	当期中	当期末	D.I.
前期実績	3.8	55.9	40.3	▲36.5
当期実績	3.9	47.1	49.0	▲45.1
来期予想	7.8	49.1	43.1	▲35.3

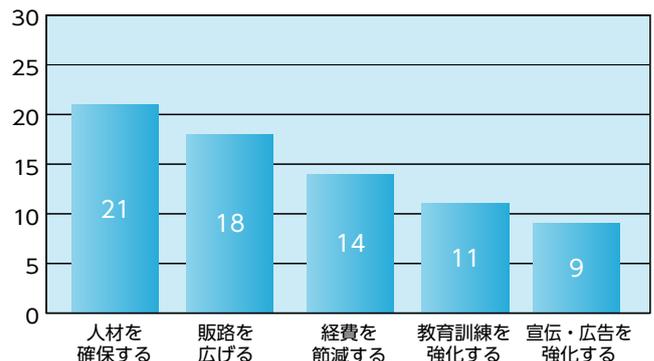
当期実績…28年 10～12 月期
来期予想…29年 1～3 月期

□ 良い、増加、上昇、過剰、楽 □ 普通、変わらず、適正 □ 悪い、減少、下降、不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



建設業

概況

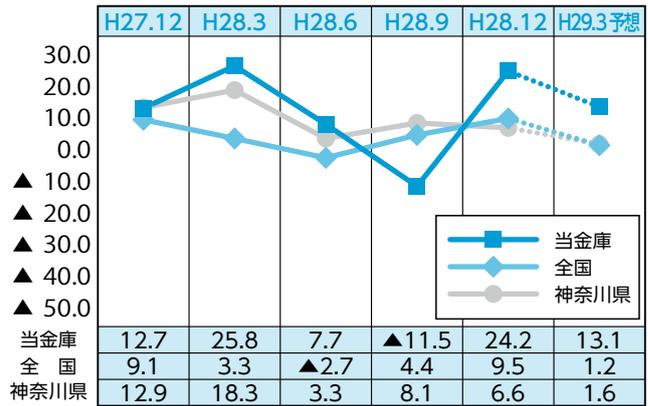
建設業の業況判断 D.I. は前回調査比 35.7 ポイント改善の 24.2 となり、3 期ぶりに大幅改善となりました。項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 30.6 ポイント改善の 12.9、収益 D.I. は 27.4 ポイント改善の 14.5 となっております。

天候不順による工期遅れを懸念する企業が増加する中、民間の工事受注の確保とともに約 3 割の企業が前年同期に比べ売上が増加したと回答し、工事受注が堅調に推移する様子が窺えます。しかし人手不足に加え、外注の確保に苦慮し受注機会損失につながる企業も見受けられることから、下請けの確保が今後の課題として挙げられます。また平成 29 年の自社の業況見通しを「良い」と見込む企業は約 2 割強、「悪い」と見込む企業は約 3 割、「普通」が約 4 割となっております。

なお、全国は 5.1 ポイント改善の 9.5 となっており、神奈川県は 1.5 ポイント小幅悪化の 6.6 となっております。

来期の予想業況判断については、11.1 ポイント悪化の 13.1 と予想されております。

業況判断D.I.値



売上額

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	14.5	53.3	32.2	▲17.7	▲17.7
当期実績	29.0	54.9	16.1	12.9	12.9
来期予想	27.4	53.3	19.3	8.1	8.1
前年同期比	30.6	43.6	25.8	4.8	4.8

請負価格

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	8.0	74.3	17.7	▲9.7	▲9.7
当期実績	14.5	71.0	14.5	0.0	0.0
来期予想	19.3	67.8	12.9	6.4	6.4

在庫

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	6.4	93.6	6.4	6.4	6.4
当期実績	3.2	96.8	3.2	3.2	3.2
来期予想	3.2	92.0	4.8	▲1.6	▲1.6

人手

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	3.2	59.8	37.0	▲33.8	▲33.8
当期実績	50.0	50.0	50.0	▲50.0	▲50.0
来期予想	1.6	51.7	46.7	▲45.1	▲45.1

収益

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	16.1	54.9	29.0	▲12.9	▲12.9
当期実績	30.6	53.3	16.1	14.5	14.5
来期予想	24.1	56.6	19.3	4.8	4.8
前年同期比	33.8	40.4	25.8	8.0	8.0

材料価格

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	25.8	72.6	1.6	24.2	24.2
当期実績	29.5	68.9	1.6	27.9	27.9
来期予想	27.4	72.6	27.4	27.4	27.4

資金繰り

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	8.0	66.2	25.8	▲17.8	▲17.8
当期実績	16.1	63.0	20.9	▲4.8	▲4.8
来期予想	11.2	71.1	17.7	▲6.5	▲6.5

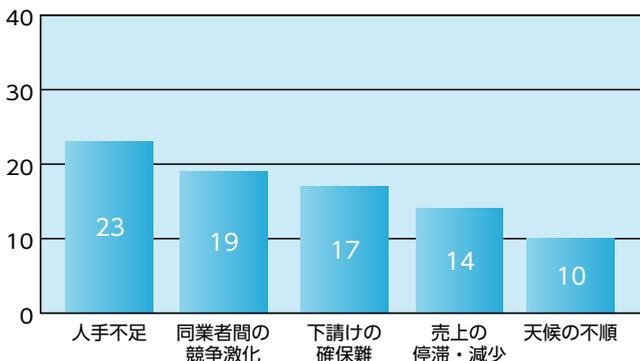
設備状況

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	4.8	88.8	6.4	▲1.6	▲1.6
当期実績	1.6	91.8	6.6	▲5.0	▲5.0
来期予想	91.7	8.3	▲8.3	▲8.3	▲8.3

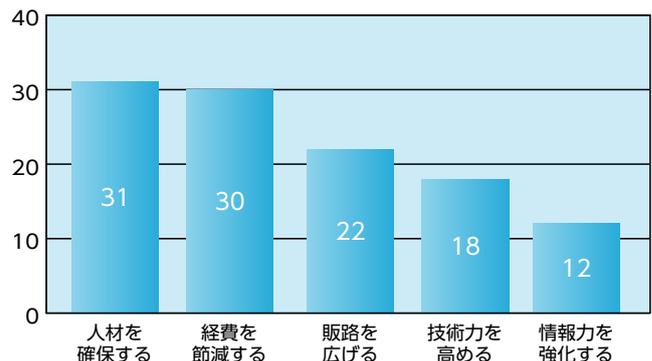
当期実績…28年10～12月期
来期予想…29年1～3月期

良い、増加、上昇、過剰、楽
 普通、変わらず、適正
 悪い、減少、下降、不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



不動産業

概況

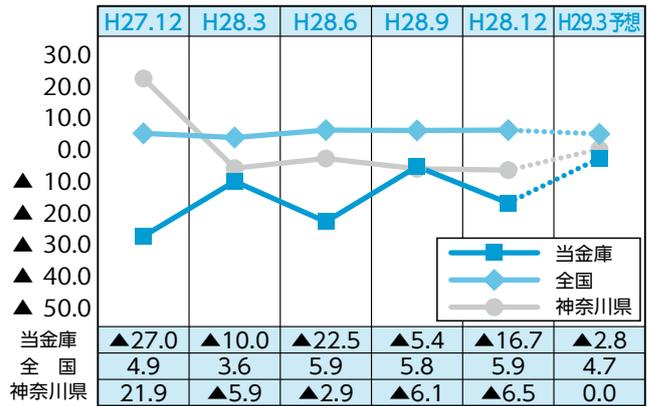
不動産業の業況判断D.I.は前回調査比11.3ポイント悪化の▲16.7となりました。項目別では、売上額D.I.は前回調査比5.4ポイント悪化の2.7、収益D.I.は2.8ポイント悪化の▲5.5、資金繰りD.I.は5.4ポイント悪化の▲2.7となっております。

在庫の長期化を避け、販売価格の値下げを行う動きや利幅を確保した商品の仕入れにより、早期に商品物件の売却に至った企業が見受けられるものの、販売価格D.I.は17.2ポイント下降の▲38.8と調査以来最も下落感が強まっていることに加え、平成29年の自社の業況見通しを「良い」と見込む企業は約1割、「悪い」と見込む企業は約3割、「普通」が約6割と業況回復への期待感が薄いことから、今後も需要動向を注視した商品物件の確保が課題となっております。

なお、全国はほぼ横這いの5.9となっており、神奈川県もほぼ横這いの▲6.5となっております。

来期の予想業況判断については、13.9ポイント改善の▲2.8と予想されております。

業況判断D.I.値



売上額

	前期実績	当期中間実績	当期末実績	D.I.
前期実績	24.3	59.5	16.2	8.1
当期中間実績	27.7	47.3	25.0	2.7
当期末実績	27.7	50.1	22.2	5.5
前年同期比	33.3	33.4	33.3	0.0

販売価格

	前期実績	当期中間実績	当期末実績	D.I.
前期実績	5.4	67.6	27.0	▲21.6
当期中間実績	61.2	38.8	▲38.8	
当期末実績	2.7	61.2	36.1	▲33.4

在庫

	前期実績	当期中間実績	当期末実績	D.I.
前期実績	8.1	62.2	29.7	▲21.6
当期中間実績	8.3	52.9	38.8	▲30.5
当期末実績	5.5	52.9	41.6	▲36.1

人手

	前期実績	当期中間実績	当期末実績	D.I.
前期実績	5.4	81.1	13.5	▲8.1
当期中間実績	2.7	72.3	25.0	▲22.3
当期末実績	2.7	72.3	25.0	▲22.3

収益

	前期実績	当期中間実績	当期末実績	D.I.
前期実績	16.2	64.9	18.9	▲2.7
当期中間実績	22.2	50.1	27.7	▲5.5
当期末実績	27.7	47.3	25.0	2.7
前年同期比	22.2	44.5	33.3	▲11.1

仕入価格

	前期実績	当期中間実績	当期末実績	D.I.
前期実績	8.1	78.4	13.5	▲5.4
当期中間実績	11.1	63.9	25.0	▲13.9
当期末実績	13.8	66.8	19.4	▲5.6

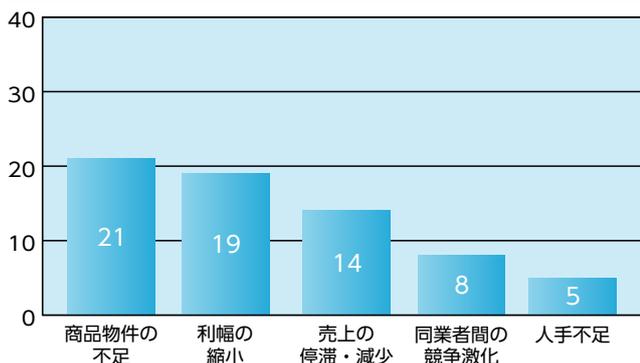
資金繰り

	前期実績	当期中間実績	当期末実績	D.I.
前期実績	10.8	81.1	8.1	2.7
当期中間実績	11.1	75.1	13.8	▲2.7
当期末実績	8.3	80.6	11.1	▲2.8

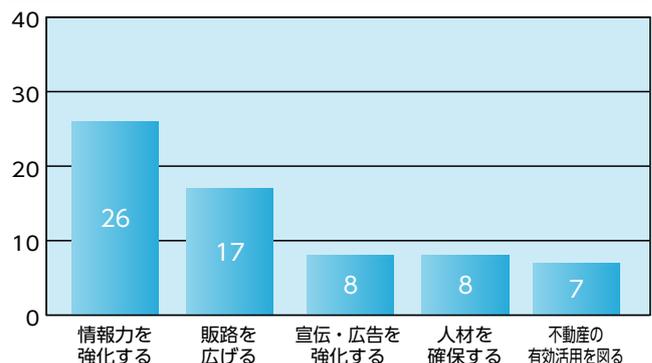
当期実績…28年10～12月期
来期予想…29年1～3月期

□ 良い、増加、上昇 過剰、楽 □ 普通、変わらず 適正 □ 悪い、減少、下降 不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



当金庫のお客様 346 社にお願いして特別調査を実施いたしました。

問1. 貴社では、2017年の日本の景気をどのように見通していますか。1つお答えください。

- 非常に良い 0社
- 良い 4社
- やや良い 42社
- 普通 139社
- やや悪い 116社
- 悪い 31社
- 非常に悪い 2社

問2. 貴社では、2017年の自社の業況（景気）をどのように見通していますか。1つお答えください。

- 非常に良い 2社
- 良い 14社
- やや良い 52社
- 普通 148社
- やや悪い 97社
- 悪い 19社
- 非常に悪い 2社

問3. 2017年において貴社の売上額の伸び率は、2016年に比べおおよそどのくらいになると見通していますか。1つお答えください。

- 30%以上の増加 2社
- 20~29%の増加 8社
- 10~19%の増加 41社
- 10%未満の増加 68社
- 変わらない 130社
- 10%未満の減少 62社
- 10~19%の減少 17社
- 20~29%の減少 3社
- 30%以上の減少 3社

問4. 貴社では、自社の業況が上向く転換点をいつ頃になると見通していますか。1つお答えください。

- すでに上向いている 53社
- 6ヶ月以内 58社
- 1年後 51社
- 2年後 33社
- 3年後 31社
- 3年超 13社
- 業況改善の見通しは立たない 90社

問5. 日本銀行は、景気を押し上げる目的で、マイナス金利政策を実行しています。貴社では、経営上、どのような影響を受けていますか。最も当てはまるものを1つ選んでお答えください。

- 良い影響がある 2社
- やや良い影響がある 21社
- どちらともいえない 194社
- やや悪い影響がある 15社
- 悪い影響がある 3社
- よくわからない 99社

「第5回ビジネスマッチング with かながわ8信金」を開催します！

中栄信用金庫を含む神奈川県内の8信用金庫では、神奈川県内で活動される企業様を中心に、新たなビジネスパートナーを見つけていただくため、**製造、食品・物販関係の事業者を対象とした個別商談会**を開催します。今回は、展示ブースコーナー(有料)の他、「商談会専用HPの開設」「大学・研究機関・支援機関との相談ブースの設置」「他県との連携」等の新企画を実施いたします。

なお、発注・バイヤー企業および受注・サプライヤー企業の募集受付期限は平成29年2月17日(金)となります。(募集予定企業数に達した場合、募集を締め切らせていただく可能性があります。)

日 時	平成29年6月6日(火) 8:50~17:00	
場 所	大さん橋ホール 横浜市中区海岸通1-1-4	
募集対象企業	製造、食品、物販関係	
募集規模(予定)	発注・バイヤー企業	100社
	受注・サプライヤー企業	300社
	展示企業	150社
参加費	無料 ※展示出展料は有料	
応募ホームページURL	http://kanagawa-matching.8shinkin.jp	

○第4回商談会の様子



詳しくは、当金庫ホームページまたはお近くの営業店までお問い合わせください。